

イノシシの生態・習性

イノシシの体で電気を通すのは

鼻だけ



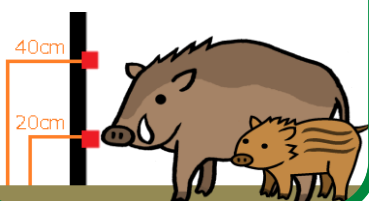
毛は剛毛で、電気や
有刺鉄線が当たっても平気



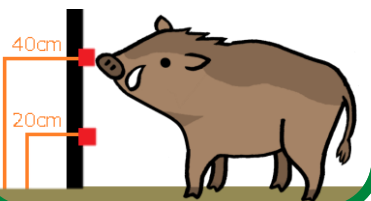
野菜、果物、米だけではなく
土手や畑の青草、雑草も大好物



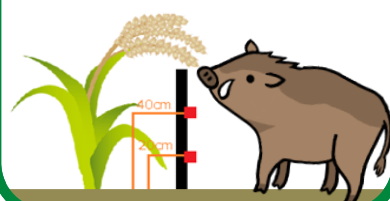
幼獣、エサを探している時の成獣
鼻の高さ 約20cm



作物を目指して歩いている成獣
鼻の高さ 約40cm



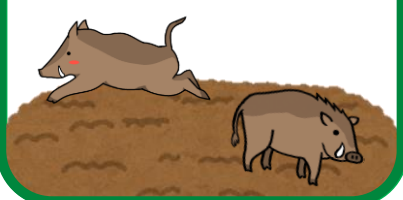
作物が柵からはみ出していると
上を向くので鼻が電線に当たらない



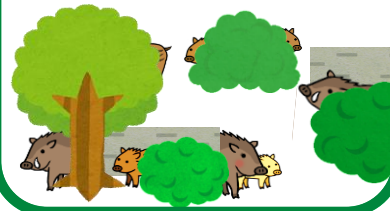
慎重で臆病な性格
慣れると大胆不敵になる



近くに隠れる場所があったり
安心できる場所しか掘り返さない



イノシシはかくれんぼが大好き
茂みがある場所を好みます



鼻先で70kgの物を
持ち上げる力がある



イノシシはエサを食べられた
畑の場所を忘れない



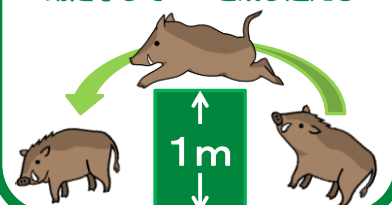
イノシシの活動時間は
朝・昼・夜、24時間



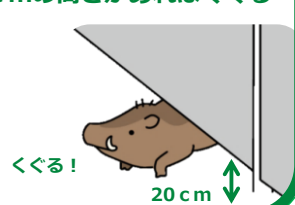
一度に産む子供の数
4～6頭



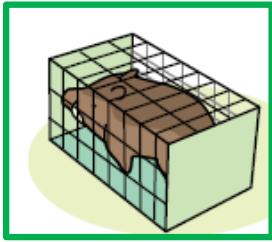
イノシシのジャンプ力
助走なしで1mを飛び越える



飛ぶよりくぐり抜ける習性
20cmの高さがあればくぐる

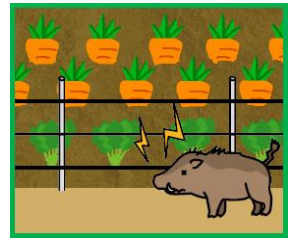
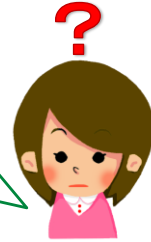


イノシシ被害を止めるために 私たちにできることって何があるの？



狩猟免許を取って
罠を仕掛けて
捕獲をするとか？

全ての農地に
防護柵を張ること
じゃないかしら？



もっと簡単で、かつ効果的にイノシシの被害を減らす方法がありますよ。

合言葉は「えづけSTOP！」

これを徹底したことで、私たちの集落ではイノシシの被害が止まりました！



この電気柵は外側にも内側にも何も無い場所を作ってあるでしょ？
作物も電線から離れた場所に植えてある。こういう対策をした畑には
イノシシは警戒して近寄ってこないし、作物に執着せず諦めるのよ。
そして集落の畑がだめならと、仕方なく山の中にエサを探しに行くの。



自分の畑が守られてるし、山の中にある物を食べられても困らないし
別にそこまで気にしなくてもいいんじゃないかしら？



山の中に食べ放題の柿や栗、みかんなどがあったとするじゃろ？
たしかに私たちは食べられても気にならないかもしれない。でも、
それを食べたイノシシは栄養状態が良くなり、どんな寒い冬でも
元気に過ごせるし、どんどん数を増やしていくんじゃ。



なるほど！では、**集落にも山にもイノシシの食べるものが何もない**
という状況にしてやれば、イノシシの栄養状態が悪くなって、冬を
越せなかったり数が減ったりする、ということですね！



栄養状態の悪い母親はお乳が出ないでしょ？すると子供を産んでも
半分も大人になれないわ。でも、**集落や山で十分にエサを食べた親**
から生まれた子供は、五匹なら五匹全部大人になってしまうの。



ということは……イノシシ被害を止めるために重要なことは
「**食べさせない**」ということなんですね！



そのとおり！だから**合言葉は「えづけSTOP！」**なのよ。



集落にも、山に行っても食べ物がない。そんなフラフラな状態の
イノシシが仕掛けられた箱罠の中にエサを見つけるとどうなる？



それは……もちろん、一目散に罠の中に入っていきます！



そのとおり！えづけをやめて、イノシシの食べる物をなくすと、**猟師の捕獲効率もぐんと上がるんじゃ**。逆に、イノシシに食べる物をたくさん与えると捕獲の効率も下がる。**地域住民みんなが協力して初めてイノシシの被害が止められる**ということなんじゃよ。

